

2017年9月吉日

この春の専門学校入学者の進学活動 【2017年 全国専門学校共同入学者調査】

- ◆専門学校入学者は「学び」や「仕事」に対する意欲が非常に高い
～入学した学校で「全力で学びたい」「努力して仕事ができる人になりたい」と思う人が9割以上～
- ◆入学校を積極的に評価して入学している
～入学校を高く評価して入学しており、特に「先生」「カリキュラム」「就職支援」などに期待している～
- ◆学校を“はじめて知ったきっかけ”は「情報媒体」より「周囲の人」が多い
～入学校を“はじめて知ったきっかけ”は、過去5年間一貫して「周囲の人」の口コミが最も多く、3割以上～
- ◆3人に1人が「大学」「短大」を同時に検討
～進学先の候補として、「専門学校」と「大学」「短大」を迷っていた人が32%と少なくない割合～

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大阪市都島区／理事長 福田益和）は、新学期開始前後の3～5月に、『全国専門学校共同入学者調査』を実施いたしました。本調査は専門学校入学者による進学活動の実態把握と、専門学校教育の質の向上並びにより良い進路選択の実現に向けた取り組みに役立てていただくことを目的としています。進路選択や職業教育についての調査研究を行う株式会社応用社会心理学研究所の協力のもと、大阪府専修学校各種学校連合会が企画し、2009年度から実施しています。今年度は9年目をむかえ、全国で70校、**専門学校入学者の約4.2%**（※「平成28年度 学校基本調査」より推計）にあたる**11,222名の学生**に対して調査を行うことができました。専門学校の進学者を対象とする大規模調査としては他に例がなく、画期的な取り組みとして注目されています。

ここに調査結果の要旨をご報告いたします。よろしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。

<主な調査結果>

1. 専門学校入学者の意欲や意識

- 専門学校入学者の9割以上が「全力で学びたい」「努力して仕事ができる人になりたい」と回答 …… P.3
「学び」や「仕事」に対する意欲が非常に高い
- 「自分には長所がある」と回答する人は6割半ばにとどまる …… P.4
「学び」「仕事」への意欲が高い一方で、まだ自分に自信が持てないという人も少なくない
- 9割近くの人が将来の仕事イメージできているが、 …… P.5
専門学校入学者でも将来の仕事「はっきり決めている」という人は2割に満たない

2. 専門学校入学者の入学校評価

- 入学者の8割以上が、入学校を積極的に評価して進学先を決定 …… P.6
- 入学者の7割以上が、入学校を「他の人にも勧めたい」と回答 …… P.7
- 「先生の熱心さ」「カリキュラム」「就職支援」などを特に高く評価 …… P.8

3. 専門学校入学者の検討プロセス（メディア利用／進路）

- 入学校を“はじめて知ったきっかけ”は、「周囲の人」33%、「情報媒体」25% …… P.9
過去5年間一貫して「周囲の人」の口コミの影響が最も大きい
- 入学者の3割以上が、「大学」「短大」も進路として同時に検討 …… P.10

※「全国専門学校共同入学者調査」では115項目について詳細な調査を行っており、本資料では、その中の一部を紹介しています。本資料はWEBサイトでも公開しています。⇒ <http://daisenkaku.or.jp>

■調査概要

企画名： 専各連合会特別企画『2017年 全国専門学校共同入学者調査』
企画： 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会／株式会社 応用社会心理学研究所
調査期間： 2017年3月～5月
調査対象者： 2017年度の全国の専門学校入学者 11,222名（うち有効回答者数 10,365名）
全国の専門学校 70校
調査方法： 調査は無記名で実施し，各学校にて入学前もしくは入学直後の時期に，
オリエンテーションなどを利用して配布・回収
調査内容： 設問項目数115項目
参画校全体データの抽出方法：

専門学校入学者全体の傾向を正確に把握できるように，以下の①～③のデータ処理を行った結果，抽出された1,950名を分析対象にしています。

- ①回答精度が低いなど，分析に適さないサンプルを除去。
- ②各学校から200サンプルを上限にランダムに抽出し，規模の大きい学校の偏りを是正。
- ③「平成28年度 学校基本調査」（文部科学省）の男女別・分野別入学者比率に合わせてサンプル割付を行い，性別・分野による偏りを是正。

■お問い合わせ先（企画事務局）

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

担当：勝間

〒534-0026 大阪市都島区網島町6-20 大阪府私学教育文化会館103号室

TEL：06-6352-0048

FAX：06-6352-7553

mail：info@daisenkaku.or.jp

URL：http://daisenkaku.or.jp

※リリース内容については，下記までお問い合わせください。

株式会社 応用社会心理学研究所（アспект）

担当：古谷（ふるや）

〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F

TEL：06-6941-2171

FAX：06-6941-2081

mail：o-senkaku@aspect-net.co.jp

URL：http://www.aspect-net.co.jp

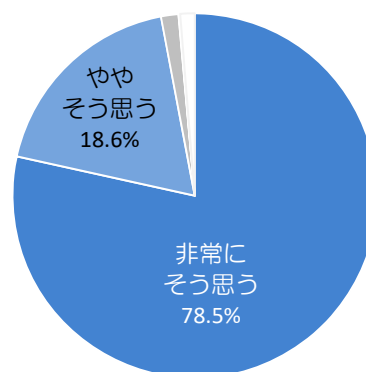
1. 専門学校入学者の意欲や意識

専門学校入学者の9割以上が 「全力で学びたい」「努力して仕事ができる人になりたい」と回答 「学び」や「仕事」に対する意欲が非常に高い

- 「本校では全力で学びたい」という設問に対し、「非常にそう思う」と回答した人が8割近くになり、「ややそう思う」という人を合わせると、97%にのぼる。
- また、「他の人より努力して、仕事ができる人になりたい」という設問に対して、「非常にそう思う」と「ややそう思う」という回答を合わせると、93%になる。
 大学全入時代を迎え、大学に入学する学生が多様化する中、専門学校生の意欲の高さは注目される。

■意欲：本校（入学校）では、全力で学びたい [単一回答]

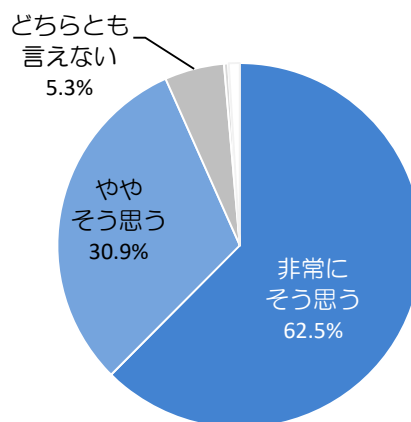
	人数	%
非常にそう思う	1530	78.5
ややそう思う	362	18.6
どちらとも言えない	30	1.5
あまりそう思わない	1	0.1
まったくそう思わない	2	0.1
不明	25	1.3
全体	1950	100.0



※5%未満は非表示

■意欲：他の人より努力して、仕事ができる人になりたい [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	1218	62.5
ややそう思う	602	30.9
どちらとも言えない	103	5.3
あまりそう思わない	7	0.4
まったくそう思わない	1	0.1
不明	19	1.0
全体	1950	100.0



※5%未満は非表示

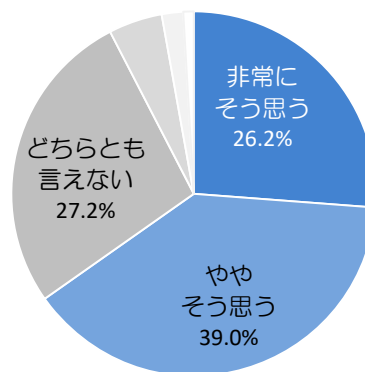
1. 専門学校入学者の意欲や意識

「自分には長所がある」と回答する人は6割半ば 意欲が高い一方で、自分に自信が持てない人も少なくない

- 「自分には長所がある」という設問に対して「非常にそう思う」との回答は26%にとどまり、「ややそう思う」という回答をあわせても65%である。
- 「自分も誰かの役に立てると思う」という設問に対しても同様の傾向がみられ、「非常にそう思う」という人は25%、「ややそう思う」という回答を合わせても67%である。「学び」「仕事」への意欲の高さに比べると、自己評価がやや低い傾向がみられる。

■自己評価：自分には長所がある [単一回答]

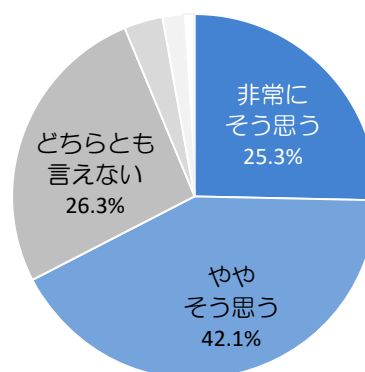
	人数	%
非常にそう思う	511	26.2
ややそう思う	761	39.0
どちらとも言えない	530	27.2
あまりそう思わない	93	4.8
まったくそう思わない	37	1.9
不明	18	0.9
全体	1950	100.0



※5%未満は非表示

■自己評価：自分も誰かの役に立てると思う [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	494	25.3
ややそう思う	821	42.1
どちらとも言えない	513	26.3
あまりそう思わない	67	3.4
まったくそう思わない	35	1.8
不明	20	1.0
全体	1950	100.0



※5%未満は非表示

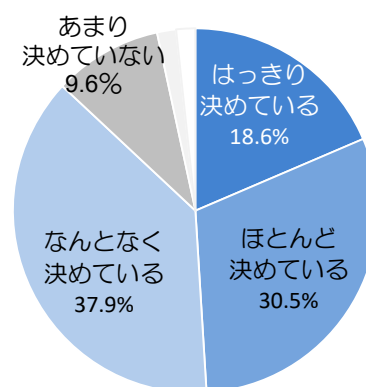
1. 専門学校入学者の意欲や意識

9割近くの人が将来の仕事をイメージできているが、
将来の仕事を「はっきり決めている」という人は2割に満たない

- 「将来の仕事について、どの程度決めていますか」という設問に対し、「はっきり決めている」「ほとんど決めている」「なんとなく決めている」と回答した人を合わせると87%になる。ただし、「はっきり決めている」と明確に答えている人は19%にとどまり、専門学校入学者でも入学時点での職業決定は必ずしも明確になっていないと考えられる。

■職業決定度：将来の仕事について、どの程度決めていますか [単一回答]

	人数	%
はっきり決めている	362	18.6
ほとんど決めている	594	30.5
なんとなく決めている	740	37.9
あまり決めていない	188	9.6
まったく決めていない	33	1.7
不明	33	1.7
全体	1950	100.0



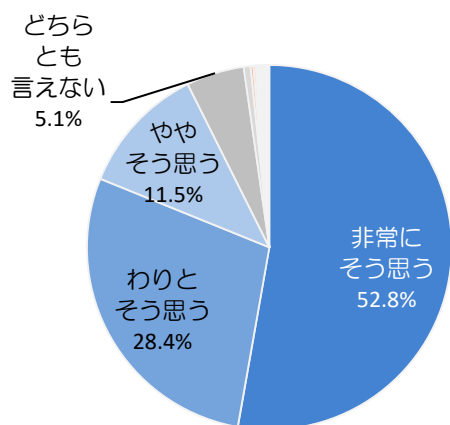
※5%未満は非表示

入学者の8割以上が、入学校を積極的に評価して進学先を決定

- 「本校（入学校）に、ぜひ入学したいと思っていた」学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」という積極的な評価を合わせると、81%となっている。
- 同様に、「総合的に評価して、良い学校だ」と思っていた学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」という積極的な評価を合わせると81%を占め、進学する専門学校を高く評価していることがわかる。

■入学校評価：本校（入学校）に、ぜひ入学したいと思っていた [単一回答]

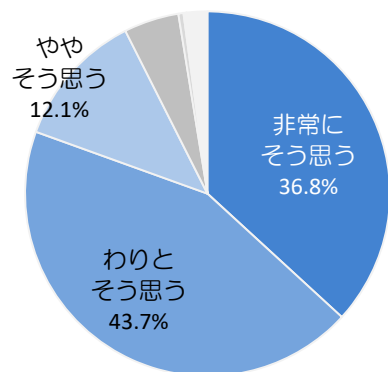
	人数	%
非常にそう思う	1029	52.8
わりとそう思う	553	28.4
ややそう思う	224	11.5
どちらとも言えない	100	5.1
ややそう思わない	12	0.6
あまりそう思わない	5	0.3
まったくそう思わない	4	0.2
不明	23	1.2
全体	1950	100.0



※5%未満は非表示

■入学校評価：総合的に評価して、良い学校だ [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	718	36.8
わりとそう思う	852	43.7
ややそう思う	235	12.1
どちらとも言えない	95	4.9
ややそう思わない	9	0.5
あまりそう思わない	5	0.3
まったくそう思わない	0	0.0
不明	36	1.8
全体	1950	100.0



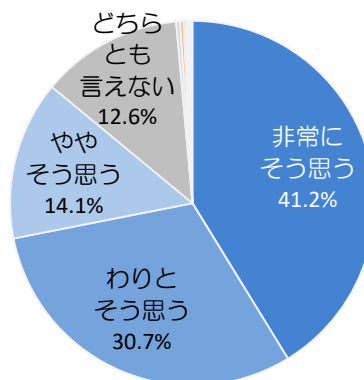
※5%未満は非表示

入学者の7割以上が、入学校を「他の人にも勧めたい」と回答

- 「この分野に興味を持つ人がいれば、本校（入学校）を勧めたい」と思っている学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」という積極的な評価を合わせると、72%になる。自分が選んだ学校を良い学校だと確信して進学している学生が多いことがうかがえる。

■入学校評価：この分野に興味を持つ人がいれば、本校（入学校）を勧めたい [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	804	41.2
わりとそう思う	598	30.7
ややそう思う	275	14.1
どちらとも言えない	245	12.6
ややそう思わない	7	0.4
あまりそう思わない	6	0.3
まったくそう思わない	4	0.2
不明	11	0.6
全体	1950	100.0



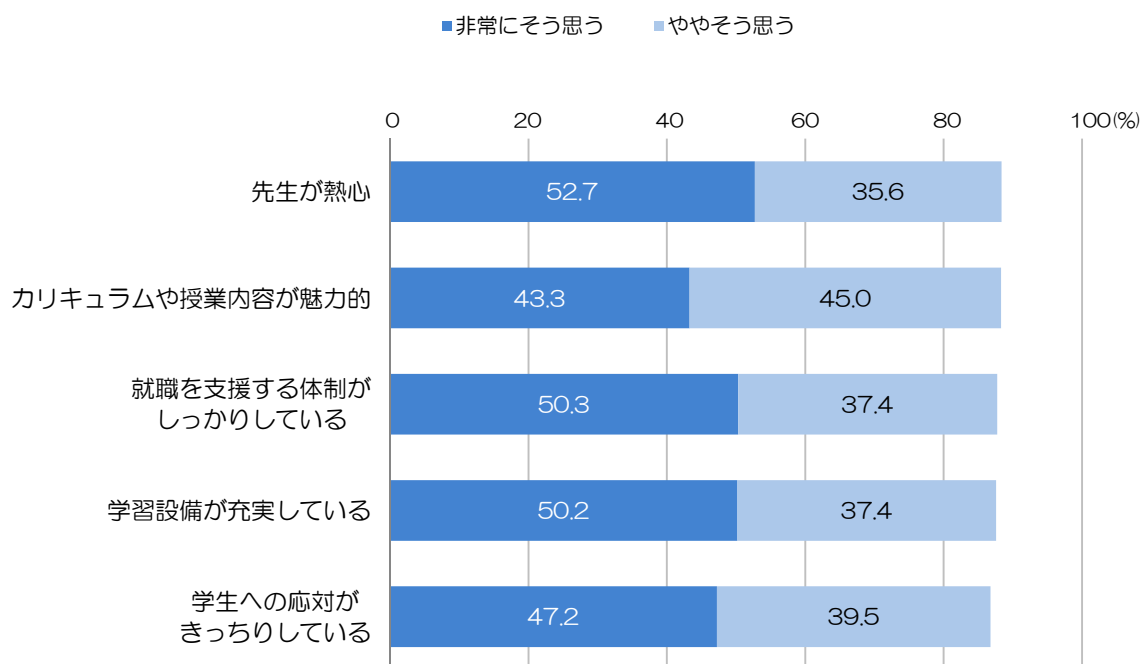
※5%未満は非表示

2. 専門学校入学者の入学校評価

「先生の熱心さ」「カリキュラムや授業内容」「就職支援」など、 教育内容や就職支援体制を特に高く評価

- 入学者は学校の「先生の熱心さ」「カリキュラムや授業内容」「就職支援体制」「学習設備」などを特に高く評価している。
(それぞれ「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると、いずれも約9割)
- 入学校に対する個別評価の上位5項目を見ると、「カリキュラムや授業内容」「学習設備」が第2位と第4位にランクされ、教育そのものを高く評価して入学していることがわかる。

■入学校評価：個別評価についての上位5項目（全15項目中） [単一回答]



n=1950

※設問は「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で回答
上記グラフは「非常にそう思う」「ややそう思う」の割合のみ表示しています

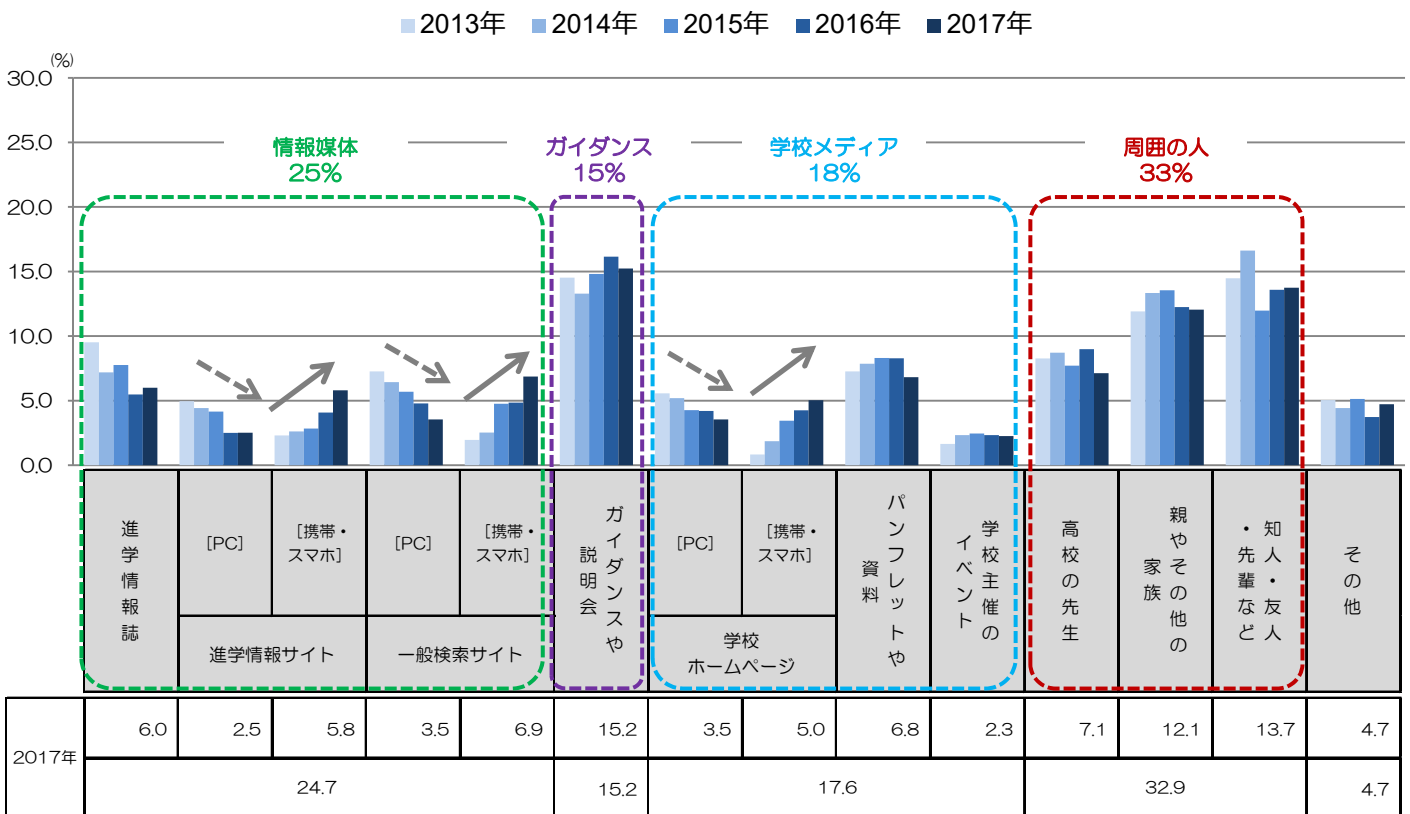
3. 専門学校入学者の検討プロセス（メディア利用）



入学校のことを“はじめて知ったきっかけ”は、
 「周囲の人」33%、「情報媒体」25%
 過去5年間一貫して「周囲の人」の口コミの影響が最も大きい

- “入学校のこと（存在や名前）をはじめて知ったきっかけ”は、過去5年間一貫して、「高校の先生」「親やその他の家族」「知人・友人・先輩など」の「周囲の人」が最も多く、3割以上。
- その他は、「情報媒体」25%、「学校メディア」18%、「ガイダンス」15%である。
- ツールとしては、「携帯・スマホ」利用割合が年々増加し、「PC」利用割合と逆転した。

■メディアの利用状況：本校（入学校）のこと（存在や名前）をはじめて知ったきっかけ [単一回答]



n=1950

※上記グラフには不明（4.8%）を表示していません

各種WEBサイト（※）をPCで利用…………… 2013年 18% 2017年 10% ↘
 各種WEBサイト（※）を携帯・スマホで利用…… 2013年 5% 2017年 18% ↗

※ 「進学情報サイト」「一般の検索サイト」「学校のホームページ」の合計

3. 専門学校入学者の検討プロセス（進路）

入学者の3割以上が、「大学」「短大」も進路として同時に検討

- 「本校（入学校）以外に検討した進路・学校はない」という人はおよそ19%にとどまり、残り8割以上の入学者は、入学校以外の進路・学校を検討していたことがわかる。
- 入学校以外に検討していた進路について最も多かったのは「本校（入学校）以外の専門学校」で、約4割となっている。
- 「大学」「短大」も進路として検討していた人も多く、それぞれ26%、9%となっている。進学先の候補として、「専門学校」と「大学」「短大」を迷っていた人が32%と少なくない割合。

■他に検討していた進路：本校（入学校）以外で検討した進路〔複数回答〕

